

玉名市は、悠久の時代から流れる菊池川をはじめ、豊かな土壌の恵みを受け、多様な文化が育まれ、文化・経済・商業の中心地として繁栄しました。その玉名市に、今、九州新幹線開業により新玉名駅が生まれ、熊本県北の玄関口として、脚光を浴び、新しい時代を迎えています。

# 光





高瀬目鏡橋

# 感

日本書紀に「玉杵名」としてその名が記される玉名。菊池川流域に分布する装飾古墳からはじまり、中世は海外交流の地として栄え、菊池川の港として繁栄した痕跡を随所に見ることが出来ます。風土に溶け込んだ遺跡、脈々と受け継がれる文化からは、先人たちの息吹を感じます。





## 心

およそ1300年前に発見されたといわれ、古くは行政都市のあった地、立願寺地区から「立願寺温泉」と呼ばれた玉名温泉。今なお歴史とロマンを秘め湧き出しています。心と体を癒す湯の恩恵とともに、豊富で新鮮な海・山・大地の恵みもまた尽きることなくこの地を潤してきました。



小天温泉



玉名温泉



# 輝

春夏秋冬を通じ、四季折々の魅力を見せる玉名は、どの季節も彩りあふれ輝き、自然の恵みに感謝した祭りとともに、迫力と情緒に溢れています。心を打つ輝きに満ちた命の温かみが伝わってきます。



蛇ヶ谷公園の桜



高瀬裏川に咲く花しょうぶ



ハゼ並木